

大鵬薬品工業株式会社 マテリアリティ（重要課題）への取り組み

マテリアリティ （重要課題）	2028 年目標	2024 年結果
<p>アンメットメディカルニーズに 対応した研究開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 主要な開発品の臨床試験の進捗を開示する ● 大鵬グループ*の新規導入品目数、研究開発の提携先や投資先情報を開示する *大鵬ベンチャーズ、大鵬イノベーションズ含む ● 研究開発人財の育成に関する取り組みを開示する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大鵬薬品 web サイトにて臨床開発状況を開示 開発品の進行状況 臨床開発状況 大鵬薬品工業株式会社 ● 2024 年実績 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 新規導入品目：2 品目（グマロンチニブ、AB680） ✓ 研究開発の提携：1 件 ✓ 新規投資：3 件（大鵬ベンチャーズ：2 件、大鵬イノベーションズ：1 件） ✓ 大鵬ベンチャーズおよび大鵬イノベーションズの投資枠を、4 億米ドルおよび 50 億円にそれぞれ拡大 ✓ 大鵬ベンチャーズおよび大鵬イノベーションズが AMED 創薬ベンチャーエコシステム強化事業に採択 ● 研究開発人財育成に関して、さまざまな取り組みを実施 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 専門学会・講習会への参加：研究部門に所属する社員の 78% が 1 回以上参加（うち、海外の専門学会・講習会へは 30%） ✓ 研究プロジェクト推進に関する社内会議を月 1 回開催、研究内容に関する活発な討議を継続 ✓ 知識・技術の連携と人材交流を目的に、研究部門・開発部門等の関連部門の交流会を定期的に開催：年に 1 回以上参加した研究部門の社員は 73% ✓ 臨床開発専門人財に関する教育を実施

マテリアリティ (重要課題)	2028年目標	2024年結果
コーポレート ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> リスクマネジメントシステムの運用と継続的改善を行う（年1回） 安定供給体制を構築し、自社が原因となる限定出荷、供給停止を0件にする 全ての直接材仕入れ先に対して、当社のサステナブル調達に関する説明会とCSRに関するアセスメントを実施し、2028年までに人権・労働・環境・腐敗防止に関する取り組み状況を把握する 	<ul style="list-style-type: none"> リスクマネジメント委員会において、リスクマネジメントシステムの継続的な見直しと、その管理および運営を実施（2024年12月に2025年度トップリスクを決定） 自社が原因となる出荷制限、供給停止の発生件数は0件 全ての直接材仕入れ先に対して、当社のサステナブル調達に関する方針を説明するとともに、CSRに関するアセスメントを実施 該当仕入れ先におけるCSRの取り組み状況を把握するためのプロジェクトを発足
企業理念の浸透・ 組織風土醸成	<ul style="list-style-type: none"> 企業理念浸透に関連する取り組みを開示する 従業員満足度調査を実施し、企業理念浸透に関連する項目の結果を分析する（年1回） 	<ul style="list-style-type: none"> 新入社員研修および階層別研修において企業理念に関するワーク、パシエント・セントリシティに関するワークショップを実施する等、企業理念の浸透に関する取り組みを推進 当社グループ企業が参加するグローバル会議や全社員を対象とした説明会において、中期経営計画ならびに企業理念、ビジョンを説明 全社員を対象とした従業員満足度調査を実施（2024年上期）し、結果を基にフォローアップ活動を実施
カーボン ニュートラル	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガスの排出量を2028年までに、2017年比50%削減を行う（スコープ1+2） ヘルスケア商品の新商品およびパッケージの大型リニューアル時において、環境配慮素材を100%導入する 	<ul style="list-style-type: none"> 大鵬薬品 web サイトにて取り組み実績を開示 カーボンニュートラル 環境への取り組み 大鵬薬品工業株式会社 2024年度に上市した3つのヘルスケア商品において、パッケージに環境配慮素材を100%導入（FSC認証紙、バイオマスインキ、再生紙のいずれかを導入）